

モビリティハブにおける シェアサイクルの現状と 駐車場連携について



HELLO CYCLING

1. シェアサイクルについて
2. モビリティハブ等の施策





HELLO CYCLING

1. シェアサイクルについて
2. モビリティハブ等の施策





会社名：OpenStreet株式会社

代表取締役社長 CEO：工藤 智彰

本社：ポートシティ竹芝 35F

設立：2016年11月

資本金等：52億円

従業員数：86名

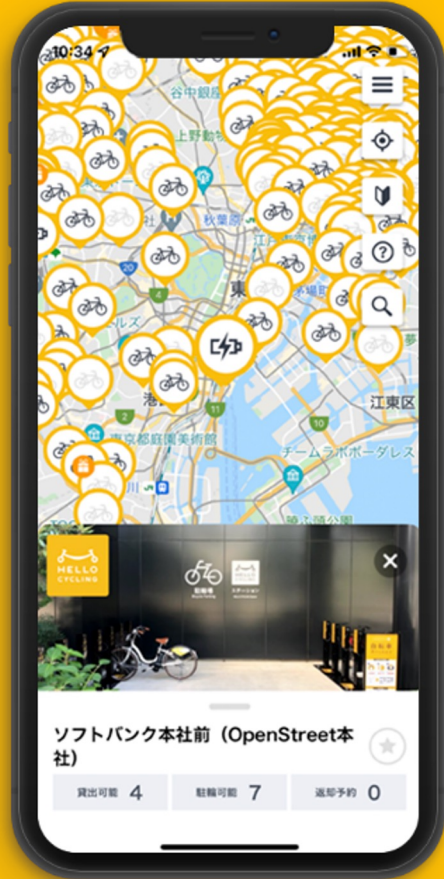
事業領域：シェアモビリティ

本社：東京都港区竹芝

大阪オフィス：大阪府大阪市中央区難波

R&Dセンター：埼玉県さいたま市

OpenStreet が提供するモビリティサービス



2016年～

国内最大のシェアサイクリング

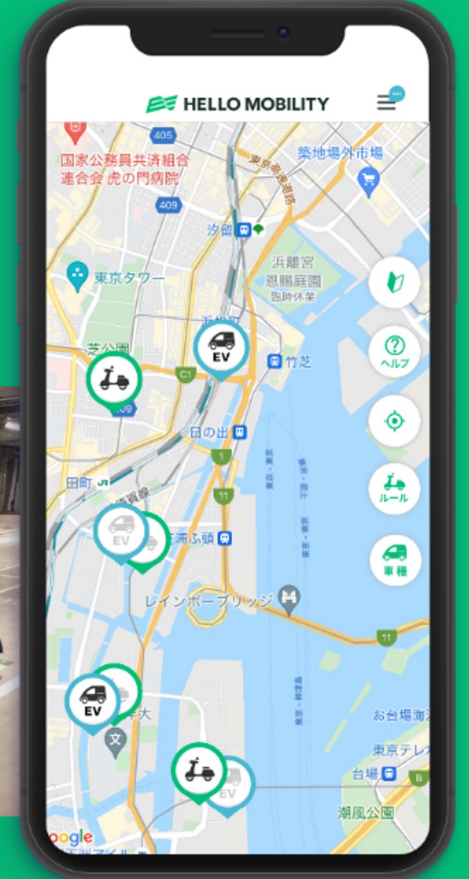
拠点数 **7,100** 箇所以上



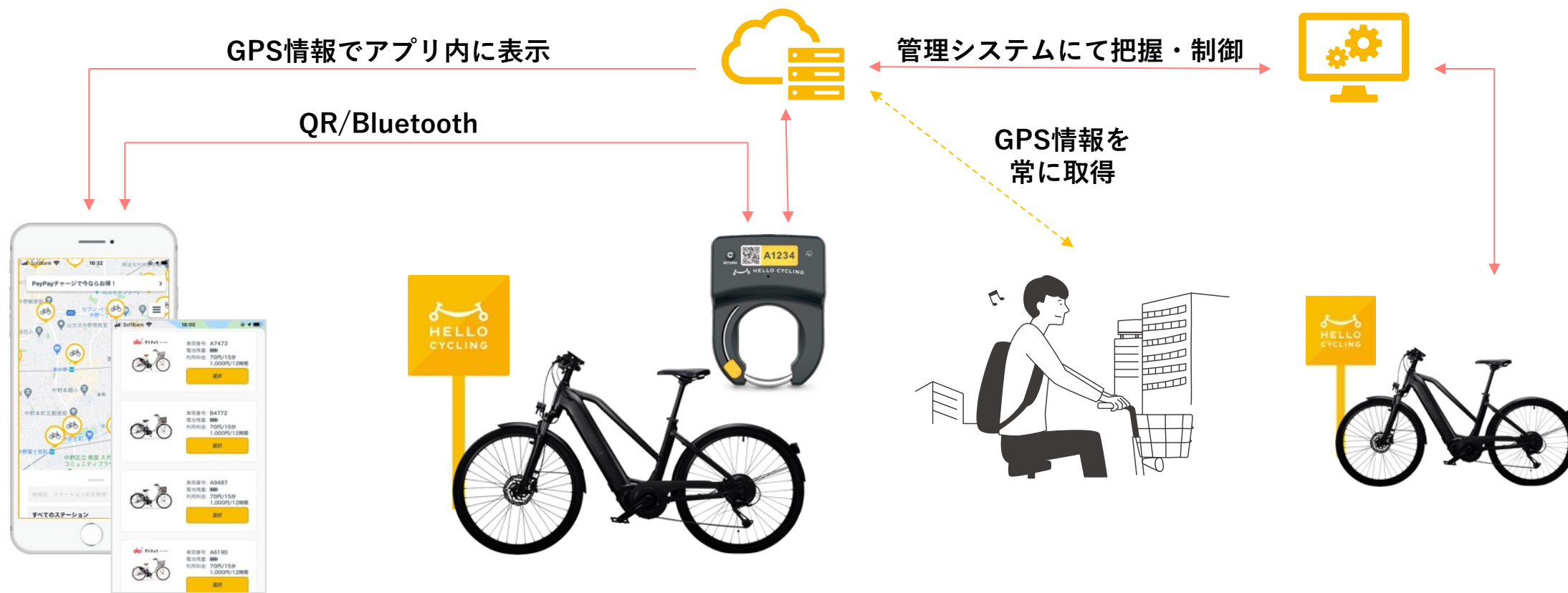
2019年～

スクーター・小型EV車

マルチモビリティシェア



シェアモビリティ – 短距離移動のDX –

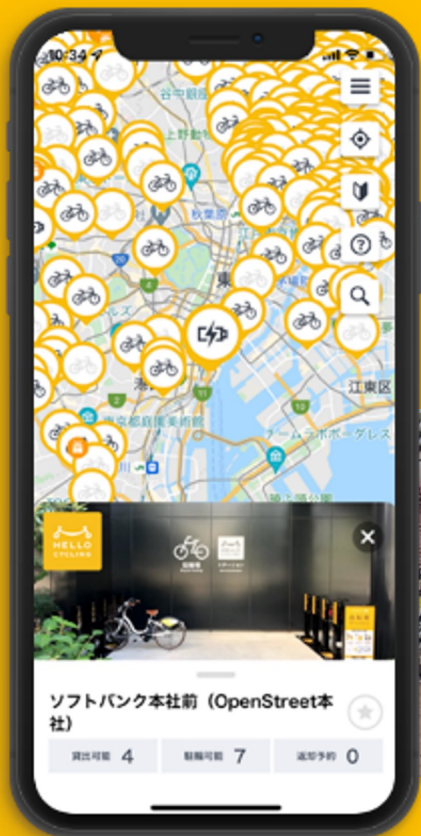


1 遠隔からアプリ内で
使いたい自転車を予約

2 ステーションに移動し
アプリからスマートロックを解錠

3 利用

4 所定のステーションに
返却・施錠



2016年11月に5ステーションよりサービススタート。
アプリより手軽にシェアサイクルが
利用できるサービスです。



2021.5
業界初 スポーツタイプE-bike
KUROAD 実証実験開始

2023. 10
ステーション数 7,100

2016.11
サービススタート
ステーション数 5

会員数 280 万人



累計ステーション数

2019年よりサービススタート。

様々なモビリティをアプリよりシェアできます。



2019年～

HONDA

Gyro canopy

低燃費スクーター



2020年～

FOMM

FOMM one

小型EV自動車



2021年～

TOYOTA

C+pod

小型EV自動車



2022年～

HONDA

BENLY e:

小型EV自動車

免許を要する
モビリティの
シェア

多様な車種をアプリからシェアできる仕組みを開発しています



EVスクーター
×
バッテリー



モビリティシェアとバッテリーシェアを融合した、BaaSサービス

OpenStreetが目指す取組み



交通結節点

太陽光発電

バッテリー
BOX

マルチモビリティステーション



あらゆる交通結節点に
環境配慮型の
マルチモビリティステーションを



HELLO CYCLING



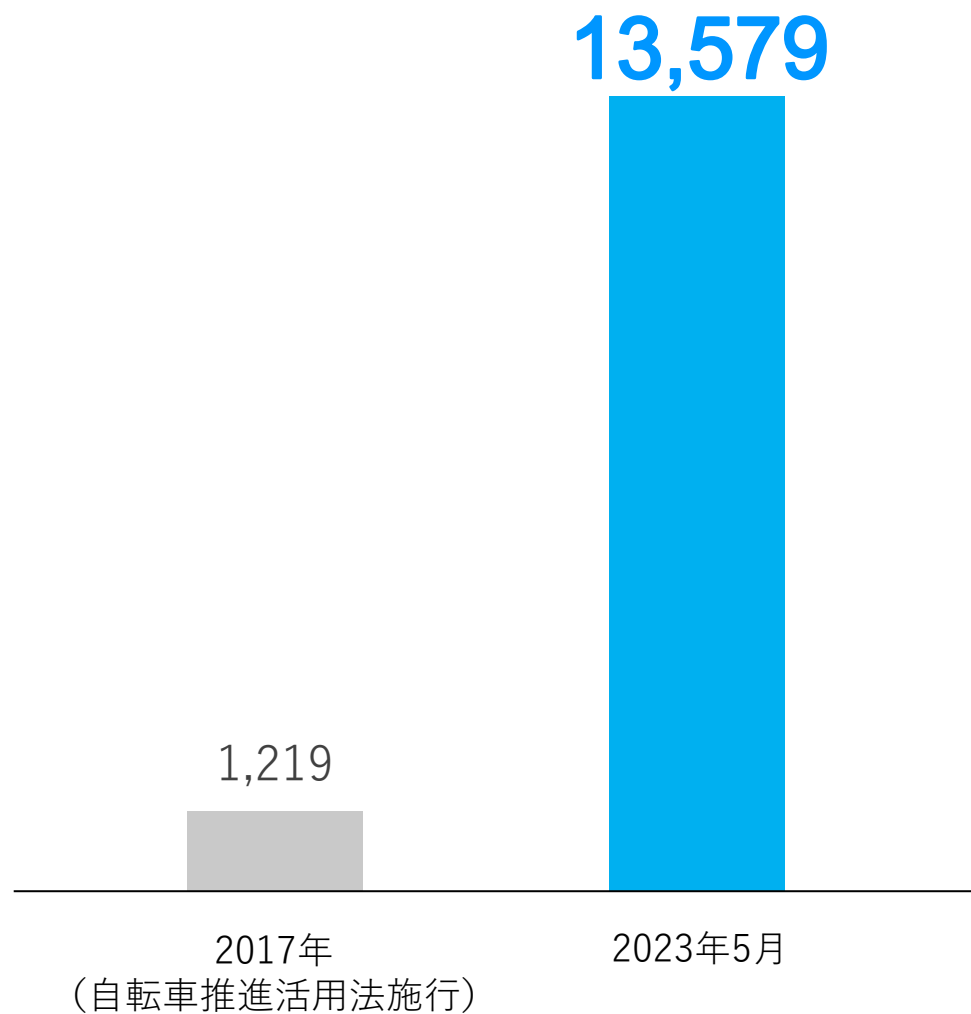


街の
ファーストマイル
ラストマイル
をつなぐ

街と郊外をつなぐ

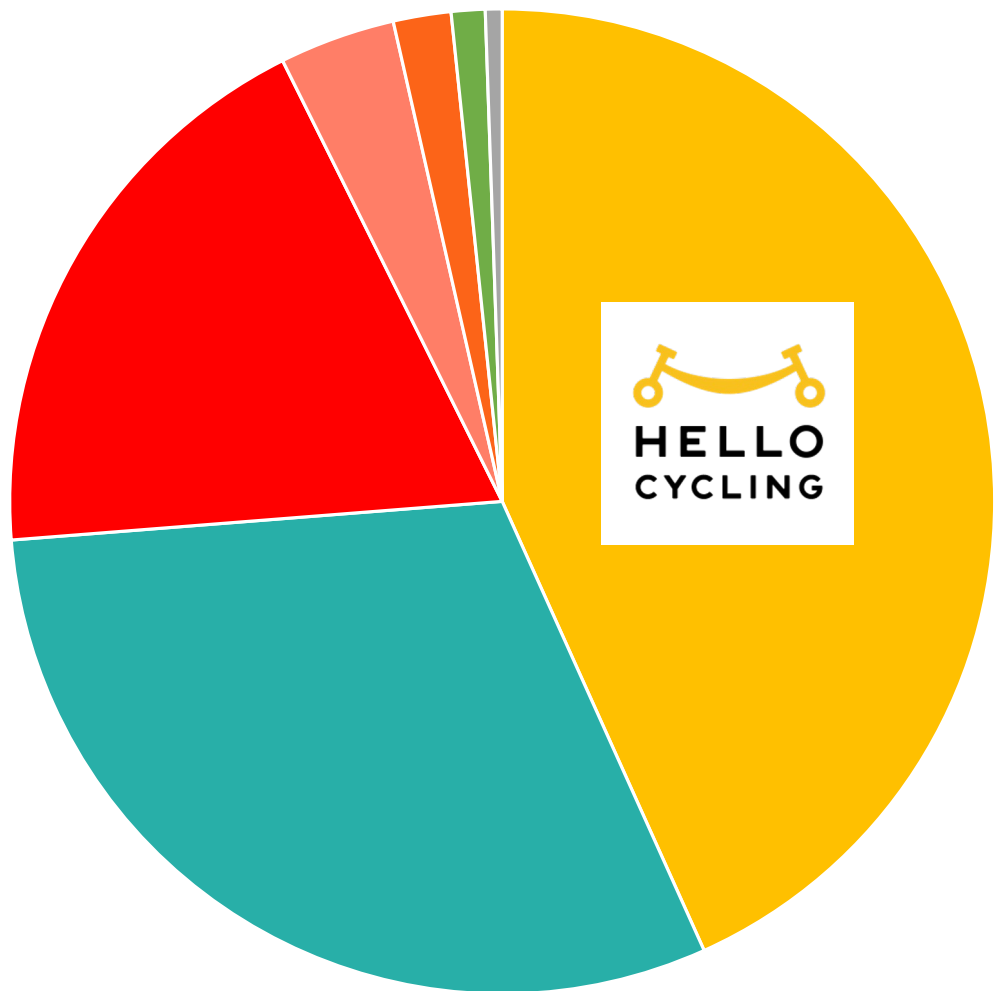


全事業者のステーション数



約5年間で
10倍の規模に成長

ステーション数のシェア

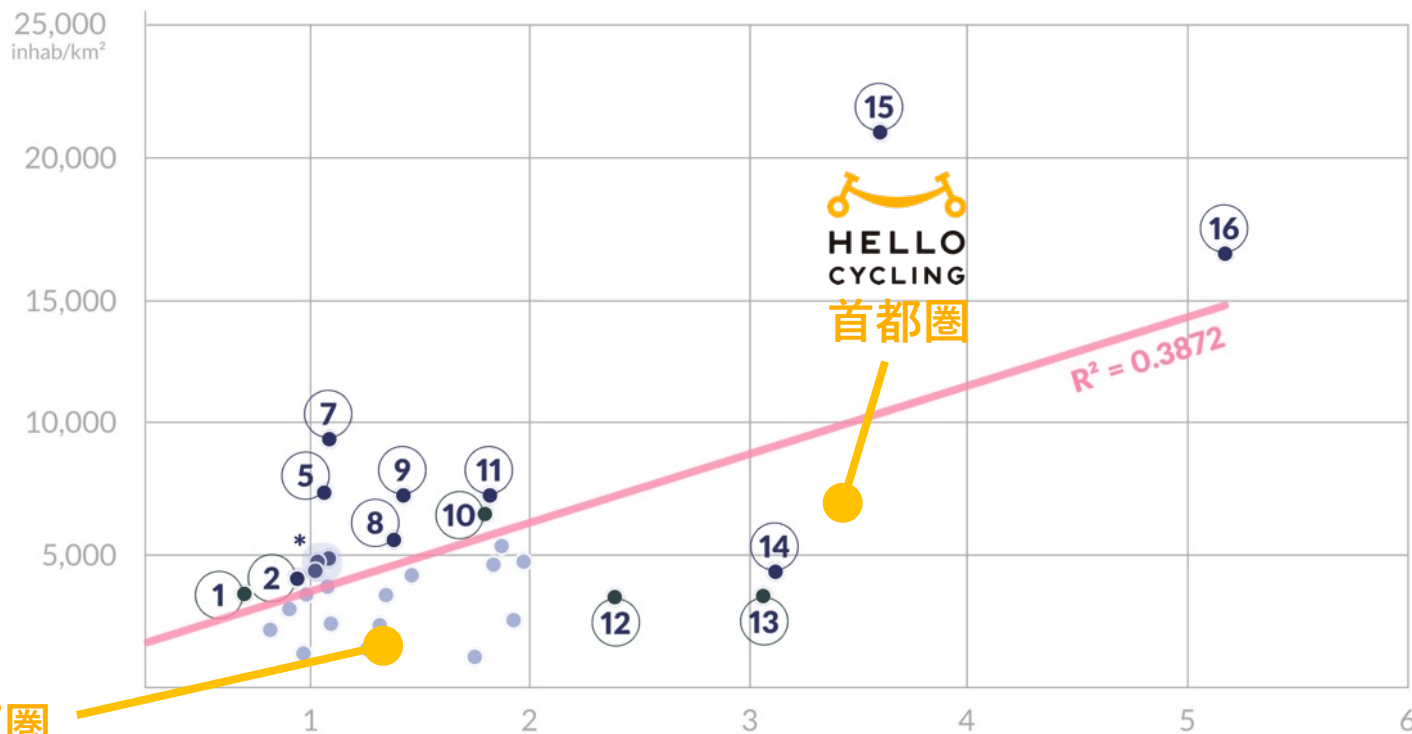


事業者	ステーション数	シェア
HELLOCYCLING	7,100	44%
A(キックボード含む)	5,000	31%
B	3,100	19%
C	624	4%
D	311	2%
E	182	1%
F	90	1%

2023年11月時点 当社調べ

URBAN DENSITY & TRIPS PER VEHICLES PER DAY

Population density (inhab/km²) against TVD (bikes, scooters & mopeds)



関西圏

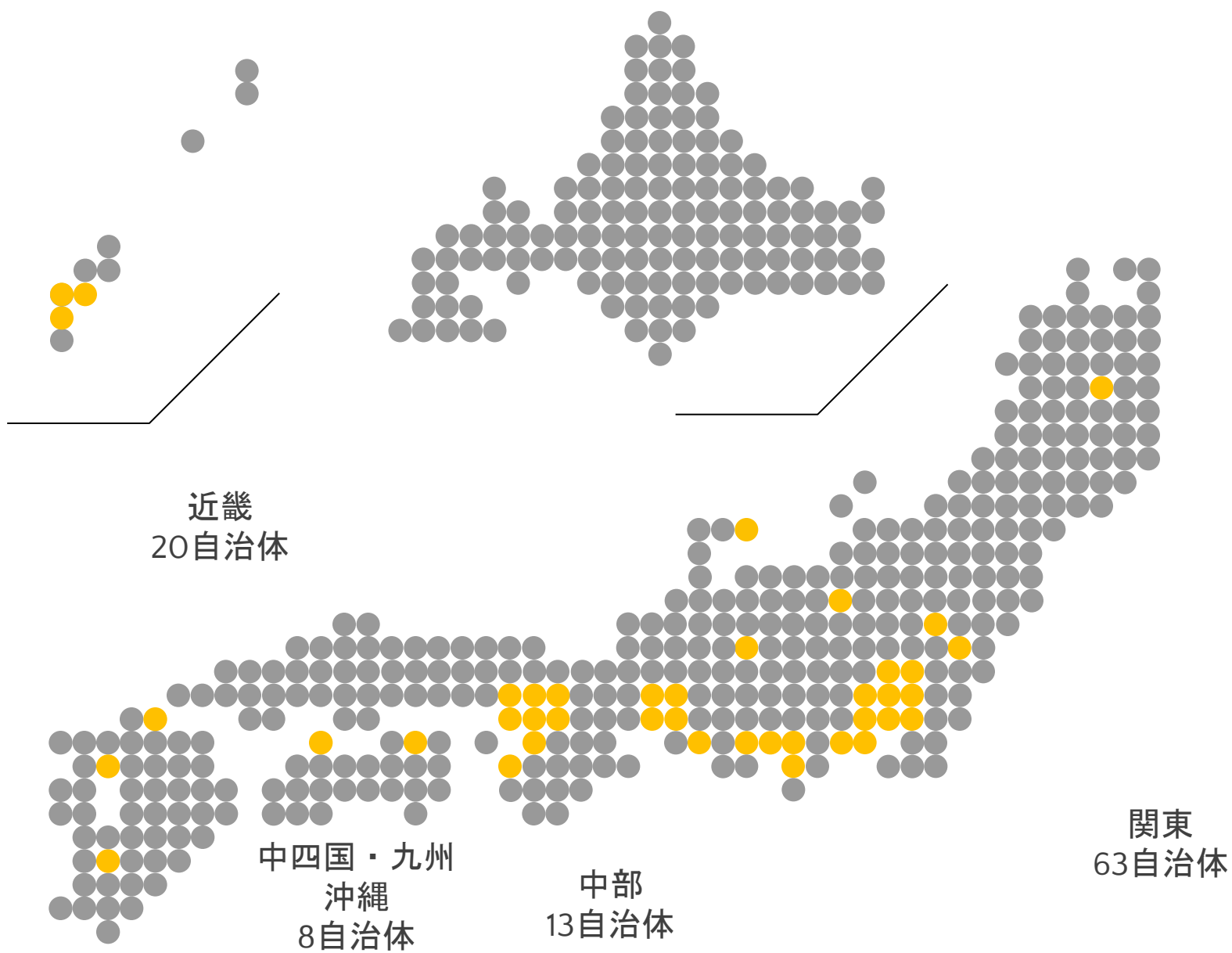


- | | |
|---------------|----------------|
| 1 - Warsaw | 11 - Turin |
| 2 - Berlin | 12 - Seville |
| 5 - Brussels | 13 - Marseille |
| 7 - Bucharest | 14 - Dublin |
| 8 - London | 15 - Paris |
| 9 - Milan | 16 - Barcelona |
| 10 - Lisbon | |

* This cities cluster contains from left to right:

- 3 - Vienna
- 4 - Stockholm
- 6 - Munich

首都圏は
欧米都市と
同水準以上の
稼働状況



協定締結自治体

105 自治体

2023年9月現在

エコ



マルチモビリティ
ステーション



スマート

市区町村

レジリエンス



災害拠点

移動

施策実施

移動データ

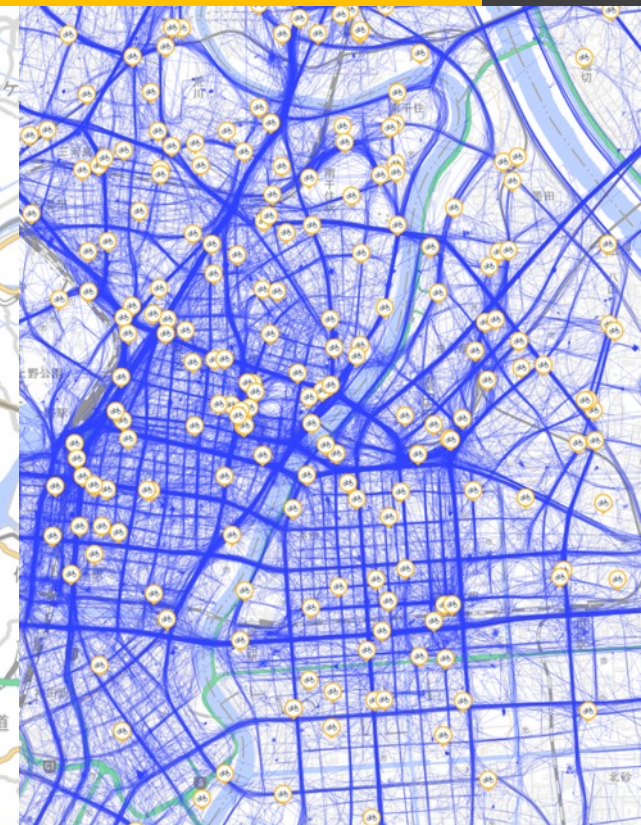
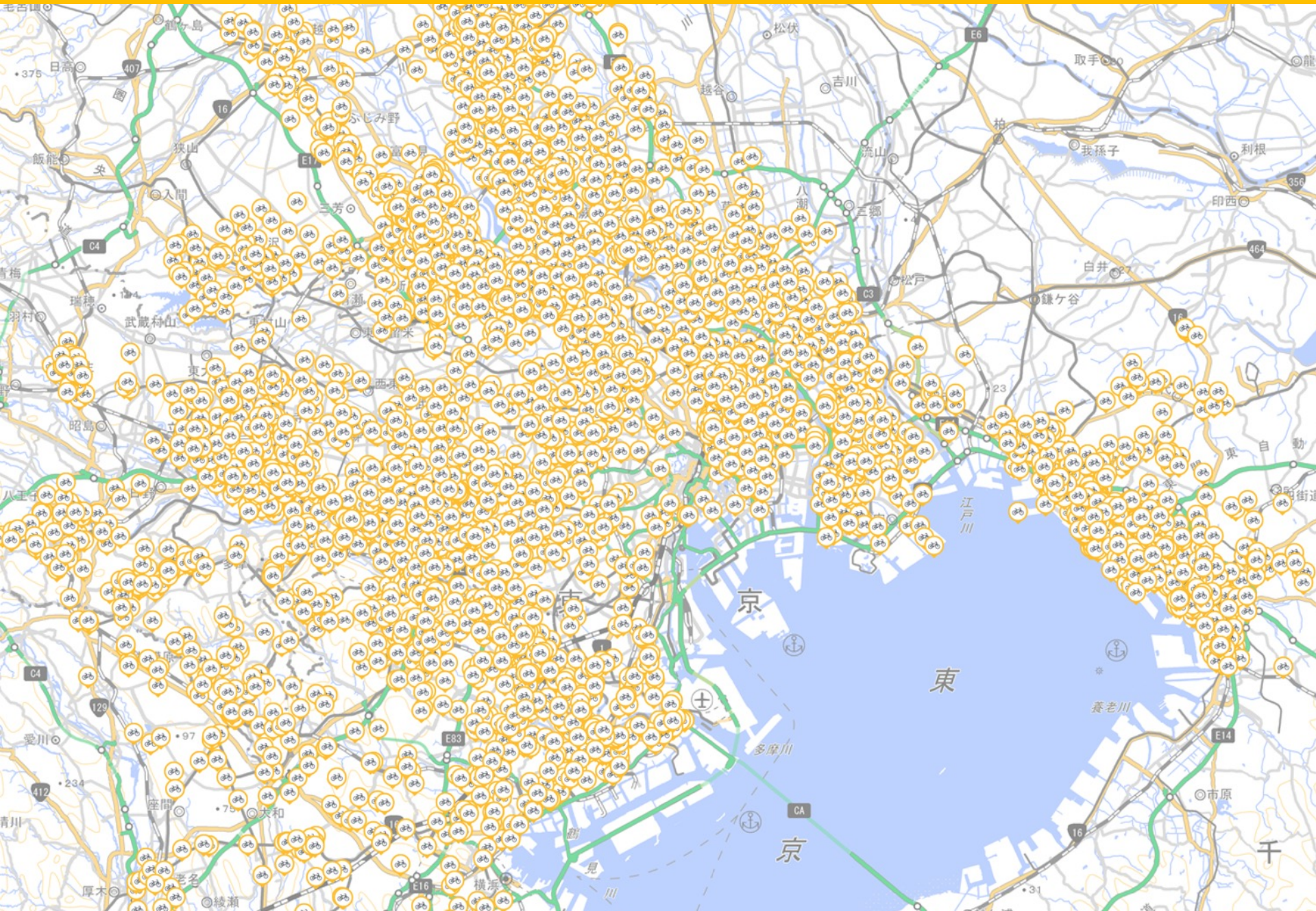
移動

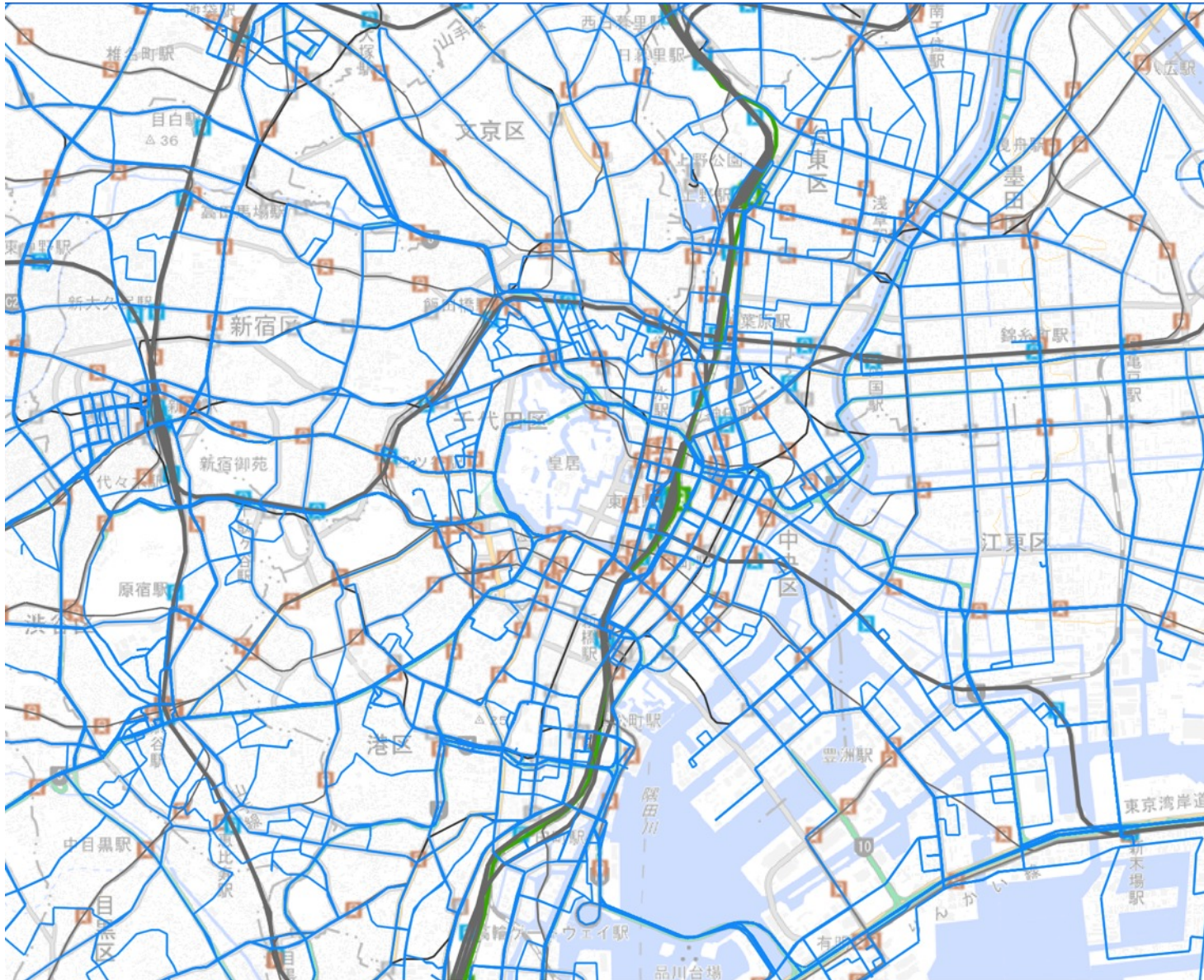


まちなか

コンパクト

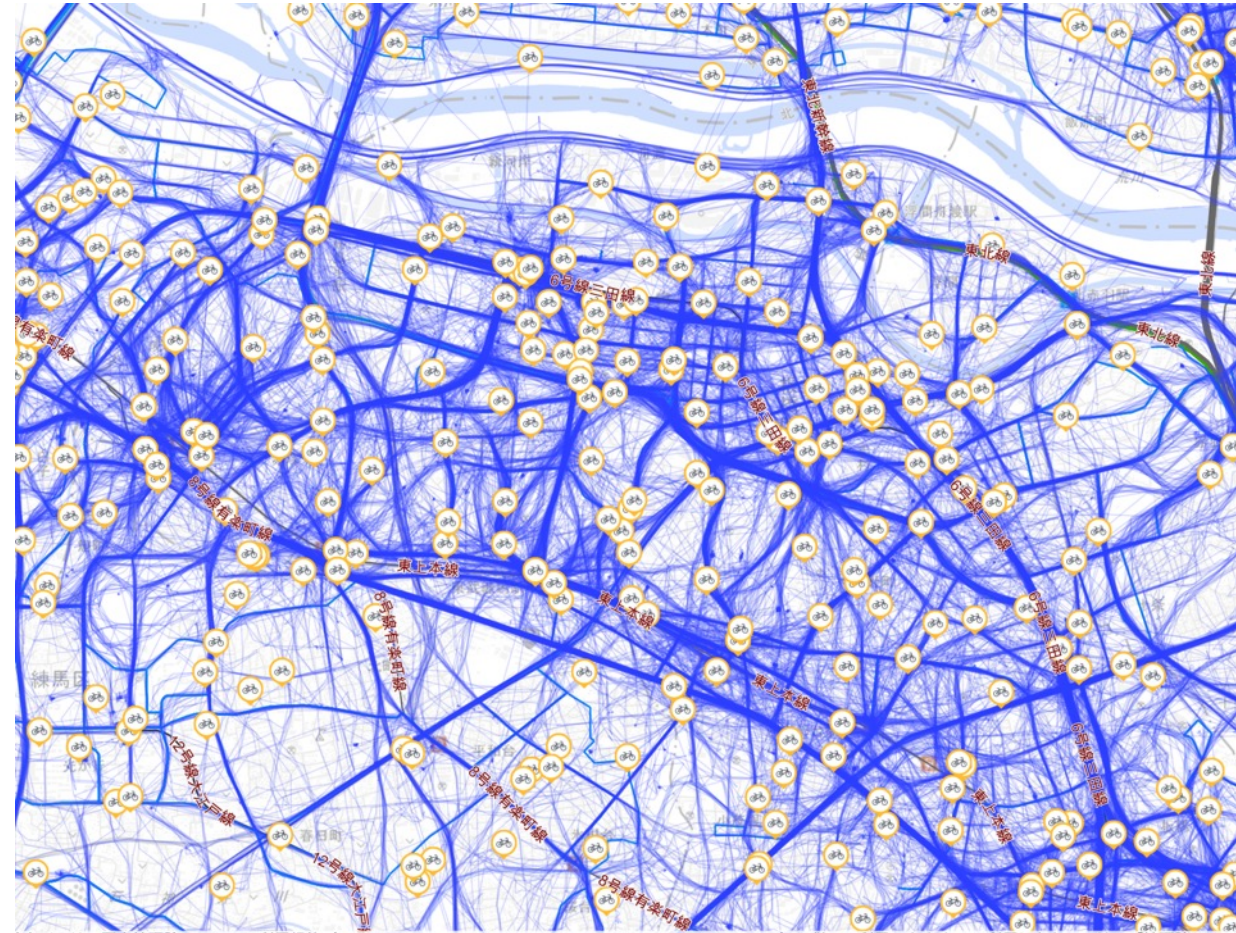
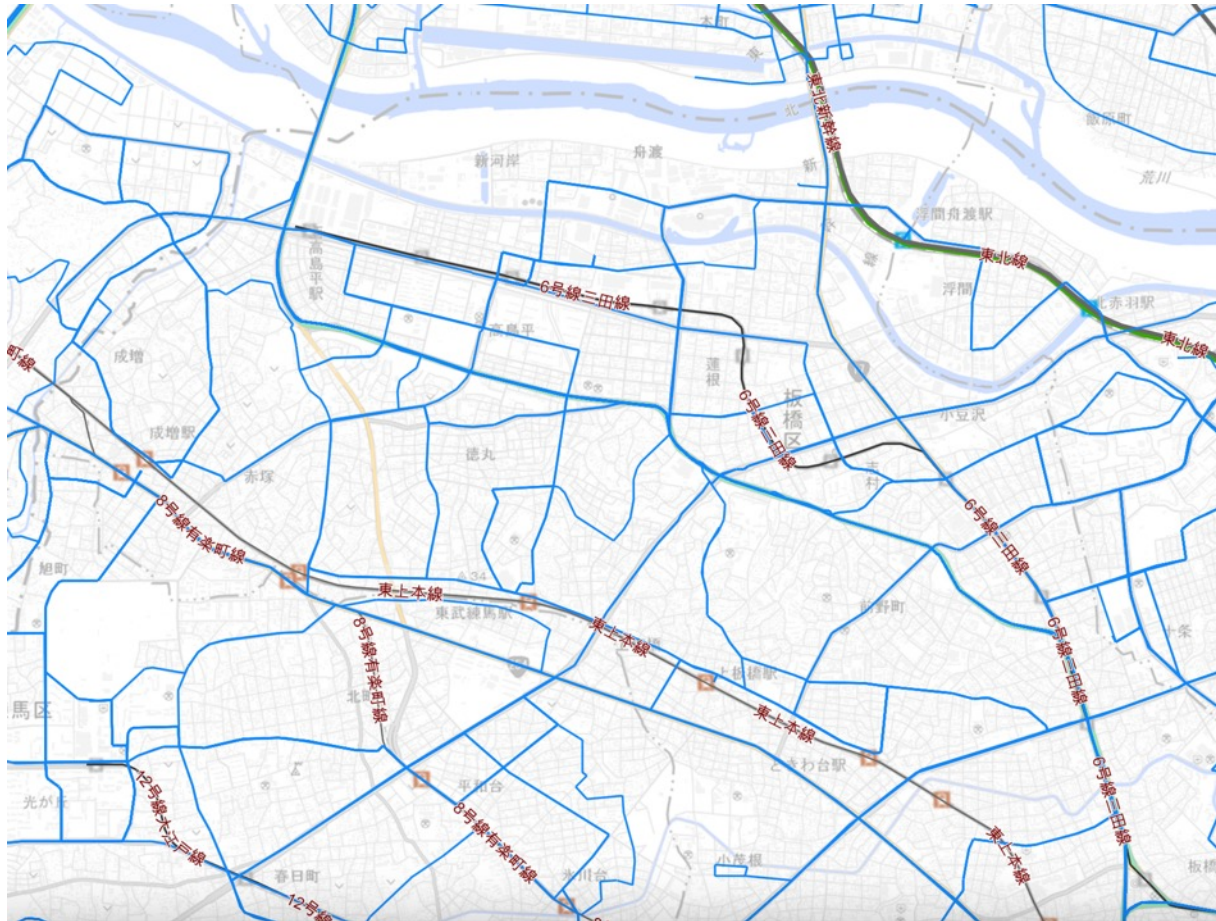
国内最大のステーション数とモビリティによるデータの蓄積

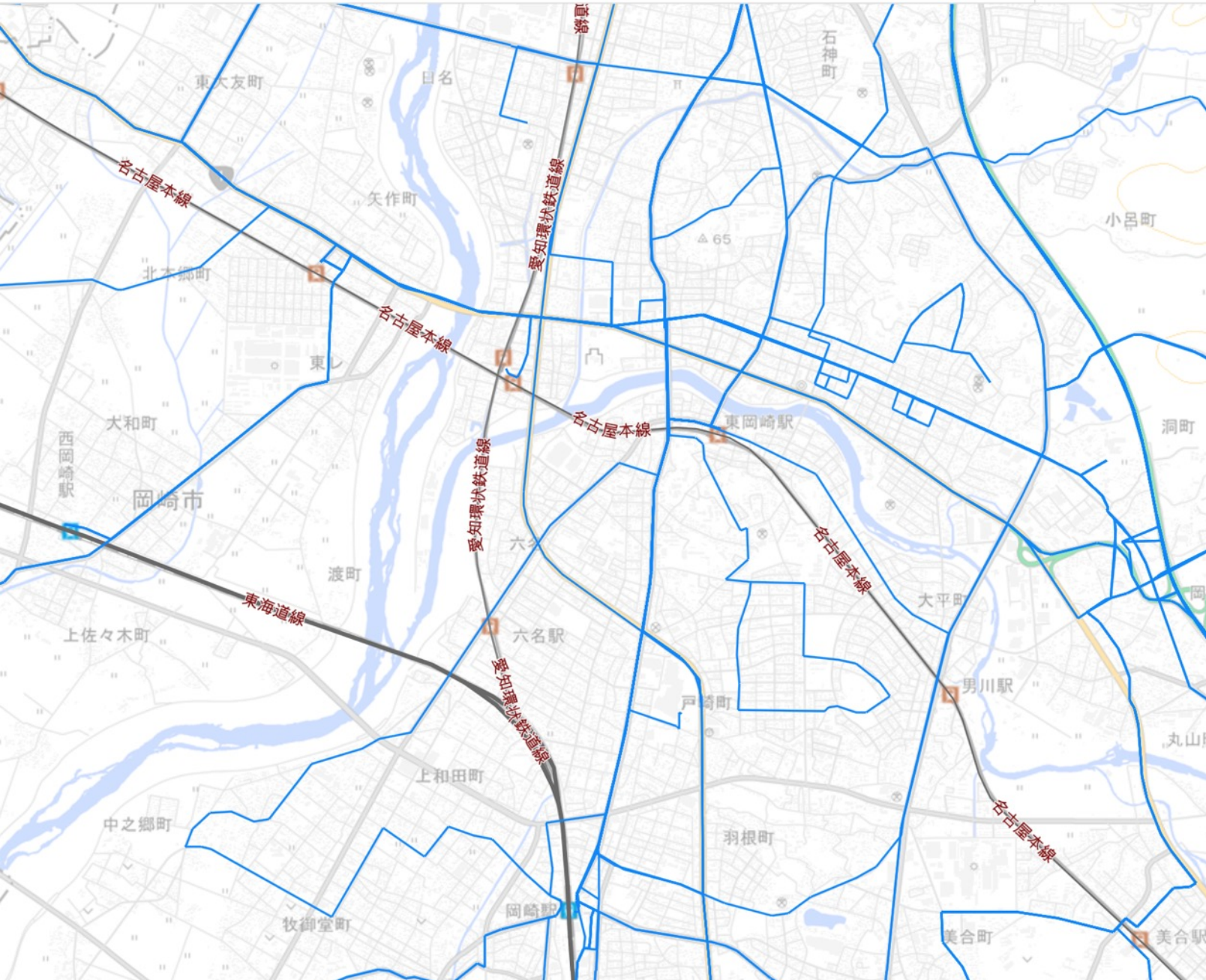




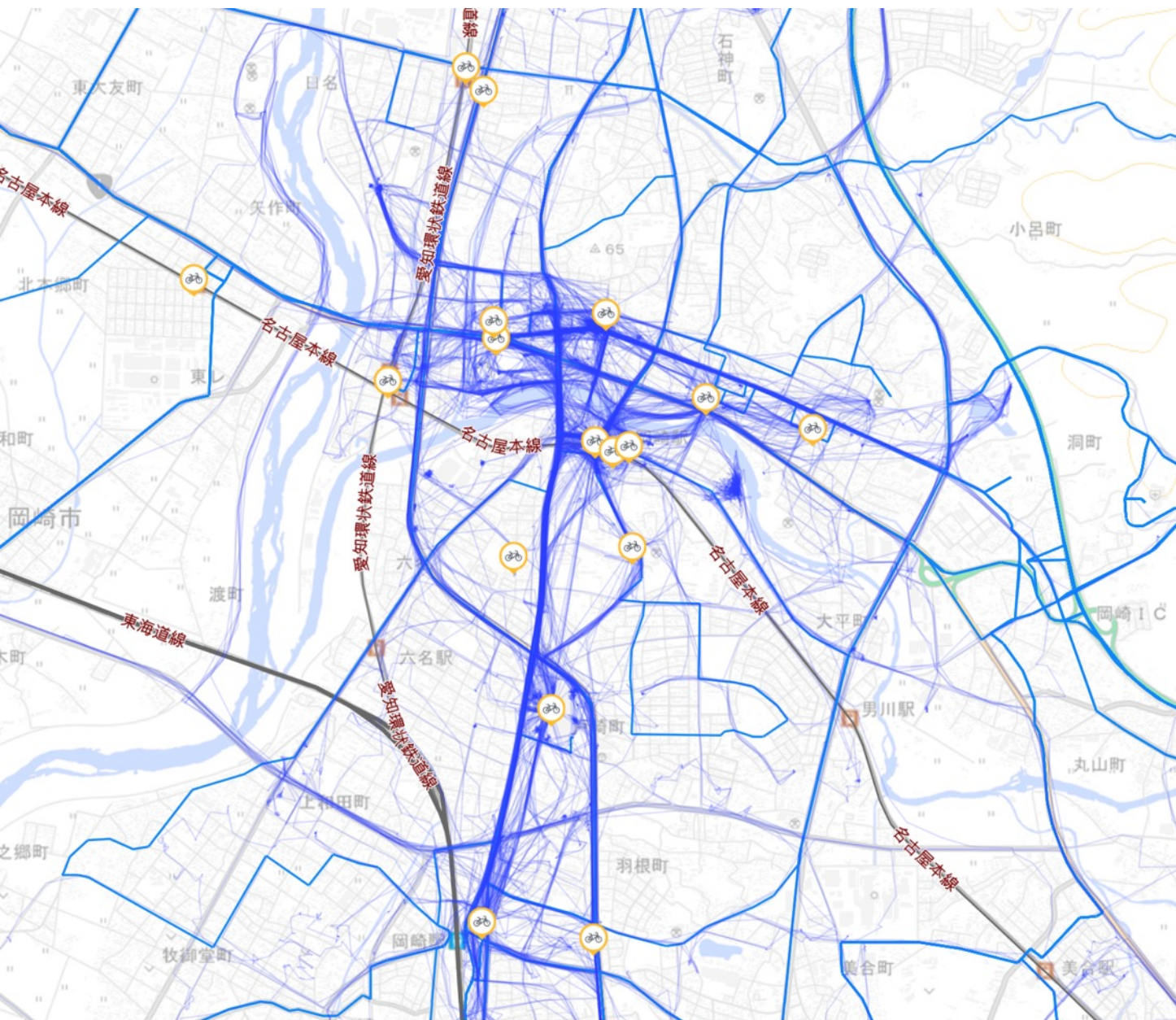
高度に発達した
鉄道・バス網

公共交通を補完する、二次交通としての機能





郊外都市は
より顕著な課題



“太い”交通を
配備しにくい

僅少/多様な移動を
カバーする
一つの手段





OpenStreet株式会社
 岡崎市観光協会
 株式会社阪神ステーションネット
 安曇野市観光協会
 株式会社まちづくり藤枝

ENEOS株式会社
 株式会社エネファント
 株式会社つばめタクシー
 鹿島建物株式会社
 株式会社わっか
 エム・ケー株式会社

株式会社サンオータス
 株式会社エリッツ
 株式会社横浜振興
 旭化成不動産レジデンス株式会社
 日新商事株式会社
 モビリティプラットフォーム株式会社

全国

シナネンモビリティプラス株式会社



関東

株式会社ベルシェアリング



江ノ島電鉄株式会社



トヨタモビリティ東京株式会社



中部・関西

加和太建設株式会社



株式会社TOKAIケーブルネットワーク



一般社団法人伊豆長岡温泉エリアマネジメント



南海電気鉄道株式会社



九州・沖縄

株式会社プロトソリューション



株式会社スカイツアーズ



Bamboo株式会社



株式会社ミクニ



観光地駅のラストワンマイルを自ら提供



南海電気鉄道株式会社



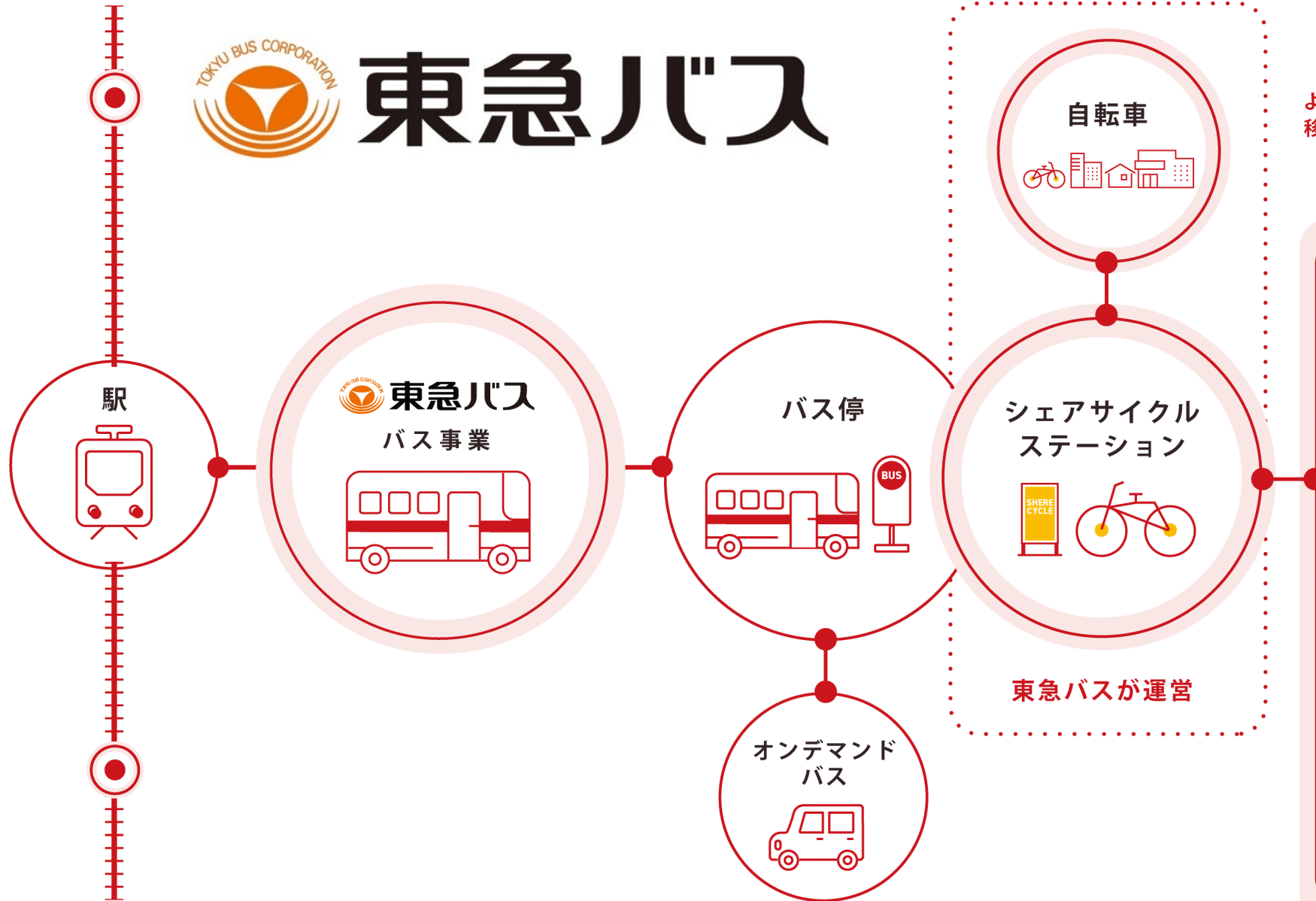
地域のふれあいパートナー

関東鉄道





東急バス



より生活に密着した場所までの
移動手段を提供

 Open Street
シェアサイクル



HELLO CYCLING
シェアサイクルシステムを
東急バスが利用

2次交通として交通事業者様がシェアサイクル運営

江電



KUROAD *debut*

ここでしか体験できない
シェアサイクル初 スポーツタイプの
e-Bike『KUROAD-クロード-』
HELLO CYCLING アプリだけで
ご利用いただけます

湘南エリアにて **実証実験 実施中**

MAP画面上部のバナーをタップで
専用ステーションが表示されます

ご利用になるにはアプリを最新版に
アップデートしてください

e-BIKE - KUROAD -

Range : 100-150km

Speed : 30km/h

Maximum possible distance

95km (HIGH),120km (NORMAL),140km (ECO)

IoT 3G/タッチパネル

Gear SHIMANO外装9段シフト

Assist 3段階アシスト

Shimano社の協力で、開発したOpenStreet特注のe-bike

battery 500wh 36.0V-13.6Ah (25.2V換算値: 19.8Ah相当)

Charge time 4.0h



concept

シーンを選ばず、乗る人が主役、KUROADは黒子。

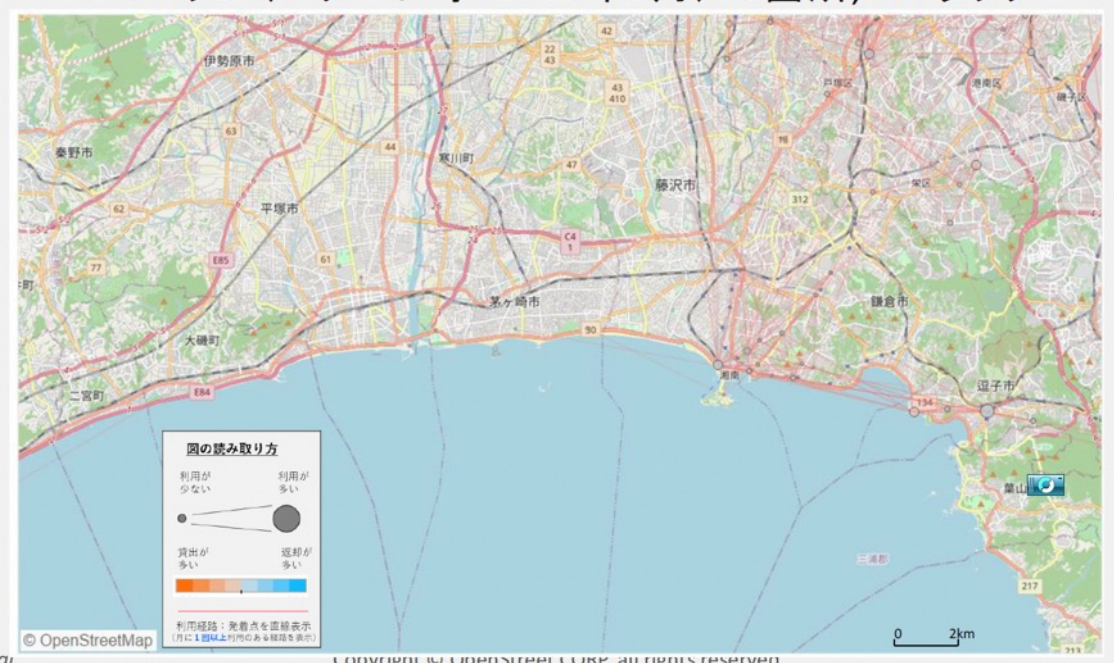
誰もが自由に乗れるe-BIKEの実現を。

全て黒でカラーリングされたボディはまさにコンセプトを体現しています。

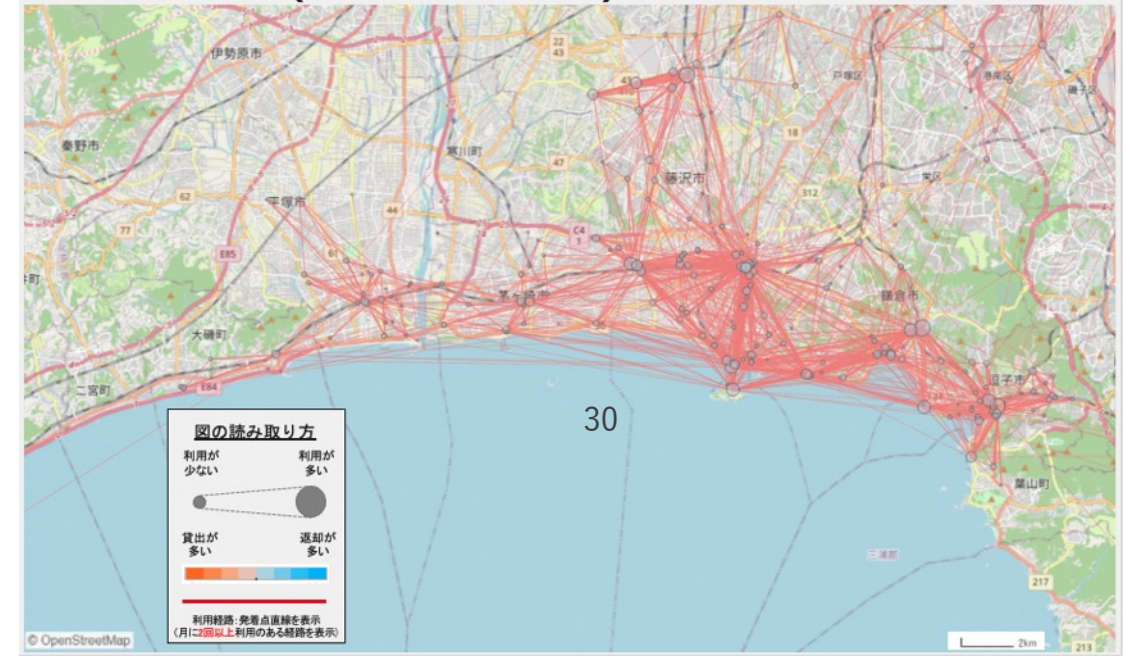
シェアサイクルを活用した湘南地域の周遊観光の促進

【構成員】 神奈川県、平塚市、鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町、大磯町、二宮町、県観光協会、各市町観光協会

ODマップ(スタート時:2019年8月)26箇所,247ラック



ODマップ(直近2021年9月) 164箇所、1164ラック



30



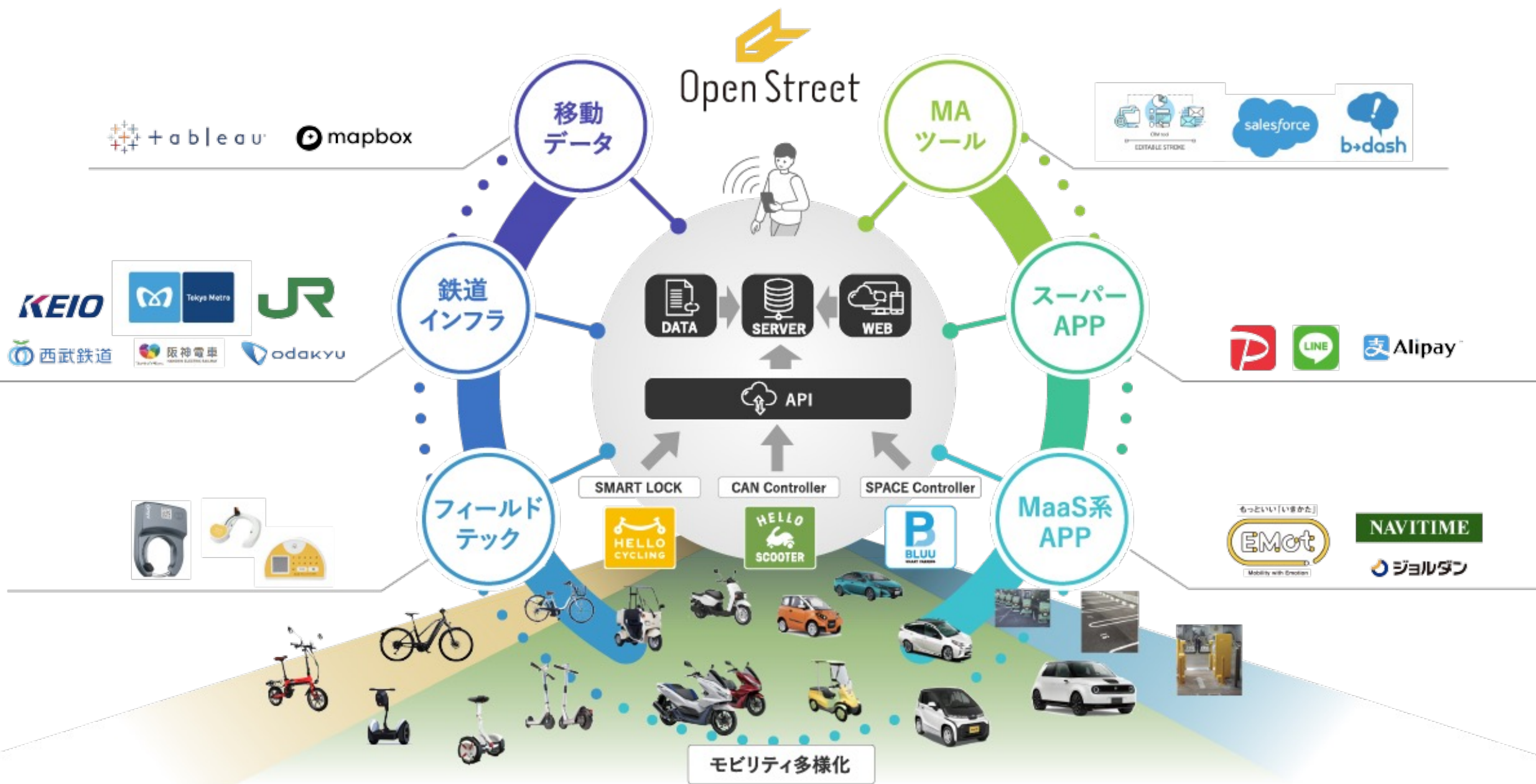
青線は車両走行軌跡を示す

少 ← 移動 → 多

背景図：地理院地図

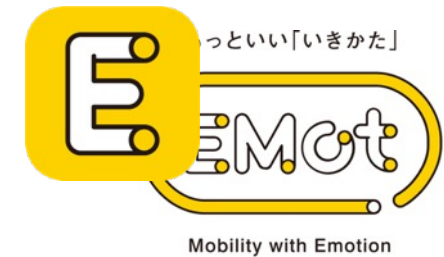
港を起点に島内の自由な移動を促進





各社のMaaSアプリ・地域MaaSと連携

提携先
東京メトロ
小田急電鉄
京王電鉄
京急電鉄
沖縄都市モノレール
阪急阪神ホールディングス
ホンダモビリティソリューションズ
ヴァル研究所
ナビタイム



ジョルダン「乗り換え案内」との連携。



JR東日本のRingoPassと連携。

RingoPassに登録して

Suicaをかざせば

レンタル開始！



Suica登録者は指定回数無料、等のサブスクプランも実装

スーパーアプリとの連携で裾野拡大



PayPay

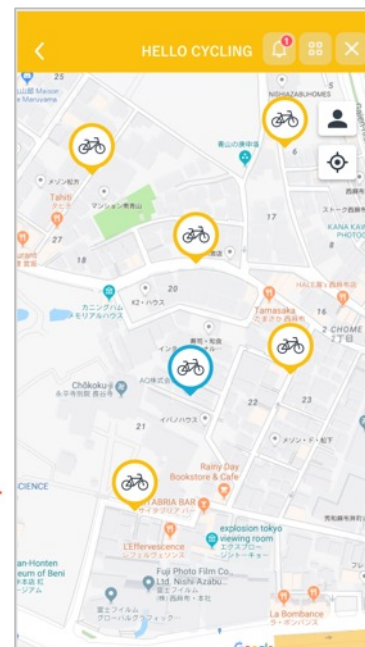


Google Maps

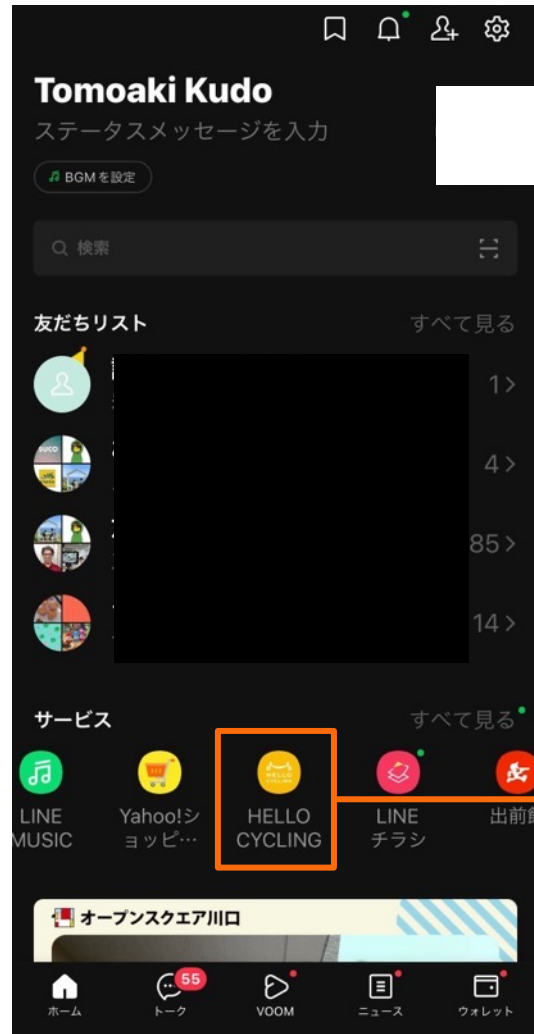
PayPayがあれば、アプリインストール不要。



PayPayアプリから
2タップで利用可能に！



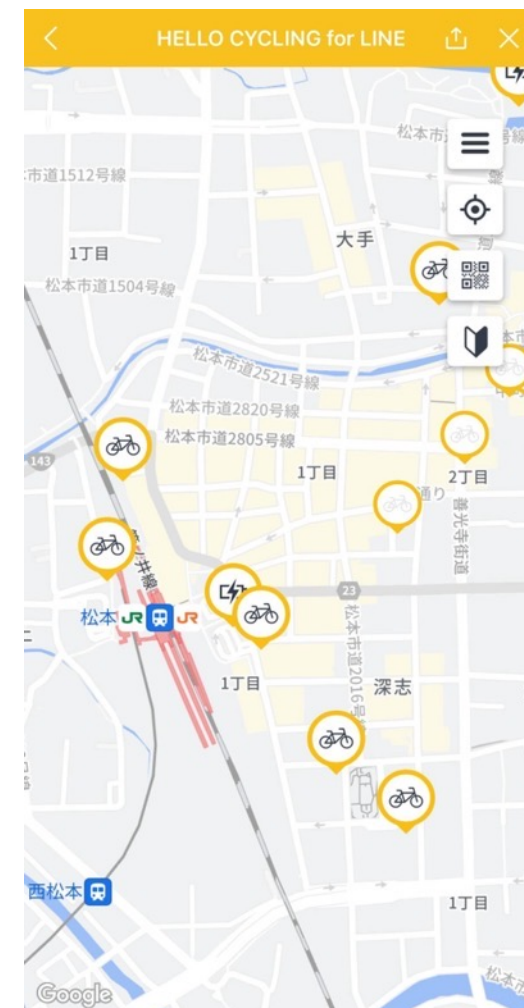
ミニアプリ機能によりLINE上で利用可能に。



アプリのダウンロード不要

LINEのID連携で会員登録不要

自治体公式アカウントにシェアサイクルを追加



経路検索時に自転車ルートで表示 (2023/10-)



自分の自転車 Hello Cycling

33分 (5.8 km)

歩3 > 自転車 Hello Cycling > 歩8
ラックの電動自転車: 6台 · ↑ 8m · ↓ 3m

アプリを開く 開始 道順



自分の自転車 Hello Cycling

13分 (2 km) ほぼ平坦

歩3 > 自転車 Hello Cycling > 歩2
ラックの電動自転車: 6台 · ↑ 4m · ↓ 0m

アプリを開く 開始 道順



自分の自転車 Hello Cycling

33分 (5.8 km)

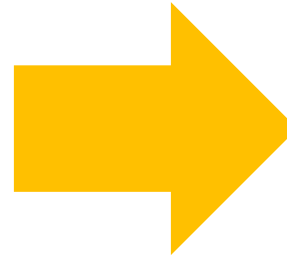
歩3 > 自転車 Hello Cycling > 歩8
ラックの電動自転車: 6台 · ↑ 8m · ↓ 3m

↑ 8m · ↓ 3m



シェアサイクルをきっかけにモビリティを多様化

アプリ内マップに
小型EVの
ポートを表示



よりニッチな
車両の利用



より大きい間口から、個別サービスに

スーパーアプリ

ミニアプリ

ネイティブアプリ
(シェアサイクル)

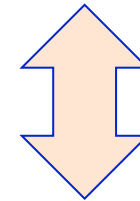
ネイティブアプリ
(EV)



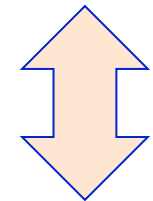
決済



SNS



連携



地域別MaaS・観光MaaS等



HELLO CYCLING

1. シェアサイクルについて
2. モビリティハブの施策



多治見市役所



駒沢大学駅前



川崎市キングスカイフロント



@世田谷区 駒澤大学駅





HELLO CYCLING

1. シェアサイクルについて
2. 駐車場との連携事例

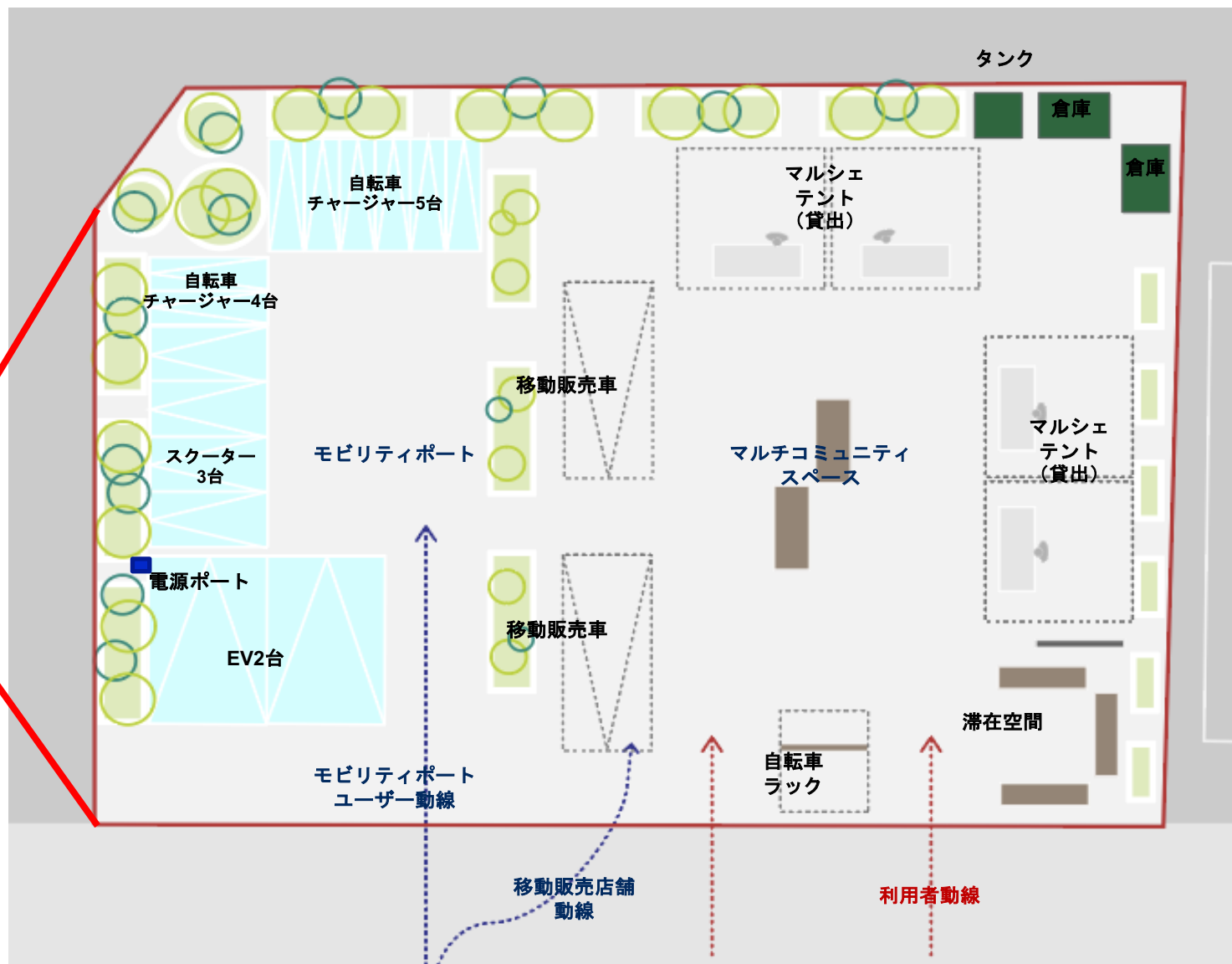
埼玉県さいたま市
旧図書館駐車場
「大宮ぷらっと」



公共用地をパーキング化すると同時に シェアモビリティポートと コミュニティスペースを設置



氷川参道沿いの公共用地駐車場にスペース設置



さいたま市との包括連携協定により、連携範囲を拡張

2018年11月
シェアサイクル実証実験



公用地・民有地にステーションを配置
シェアサイクルの普及促進・データ活用

2019年8月
シェアスクーター実証実験



中長距離移動の快適性向上など
さらなる移動の利便性向上に向けた検証

2020年12月
シェア型マルチモビリティ実証実験



市内各所にマルチモビリティを配備し、
交通利便性向上・環境負荷の軽減等を検証

2022年3月
包括連携協定



まちづくり、環境保全、災害対策、
経済振興など多岐にわたる分野で連携

「総合振興計画」の重点戦略事業に

【さいたま市総合振興計画 実施計画 第3編 重点戦略事業からの抜粋】

事業名	スマートシティに向けたモビリティサービスの充実		
事業課	都市総務課		
事業コード	09-1-3-01	掲載ページ	P249
<p>＜重点取組内容＞</p> <p>先進技術で都市の課題を解決するスマートシティの実現に向け、シェア型マルチモビリティの実証実験を重ね、モビリティサービスを充実させます。また、新たなモビリティサービスとなる「MaaS」などの社会実装に向け、公民連携で研究を進めます。</p>			

事業名	スマートシティさいたまモデルの推進		
事業課	未来都市推進部		
事業コード	02-1-1-06	掲載ページ	P97
<p>＜重点取組内容＞</p> <p>市民生活を構成する様々な分野において、AIやIoTなどの技術を活用するとともに、都市OS「共通プラットフォームさいたま版」の分野間（健康、交通等）・自治体間の連携や情報銀行化を目指しながら、民間事業者による生活支援サービス等の実証・社会実装に取り組みます。あわせて、コミュニティ形成を促進する取組を実施することで、スマートシティさいたまモデルの構築を目指します。</p>			

スマート・ターミナル・シティさいたま実行計画（さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム）

1

■ 事業のセールスポイント

駅を核とした**スマート・ターミナル・シティ**を目指し、AI・IoT等のスマート化技術や官民データの活用により、地域課題・ニーズにきめ細かく対応しながら、①健康で環境にやさしい**脱クルマ依存型生活行動**を支え、**地域回遊性を高めるモビリティサービスを充実**させるとともに、②モビリティと**地域経済活動が連携した「ライフサポート型MaaS」**を構築・実装し、③**3D都市モデル**も活用した**スマートプランニング**の高度化・実践により**ウォーカブルな都市空間・環境**の形成を促進する。

■ 位置図



■ 本事業全体の概要

○ スマートシティで解決したい都市インフラ関連の課題

市全域	中心市街地 (先行モデル：大宮駅・さいたま新都心駅周辺)	郊外住宅地 (先行モデル：美国地区)
<ul style="list-style-type: none"> ① 幹線道路の慢性的な交通渋滞の解消 ② コロナ禍・Postコロナにおけるライフスタイル・価値観の変化に合わせた移動手段の充実とモード間連携・地域連携による公共交通の利便性向上・地域活性化 ③ 自家用車から徒歩・自転車・公共交通への行動変容促進 ④ 駅周辺におけるウォーカブルな都市環境の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 鉄道駅周辺の慢性的な交通渋滞の解消 ⑥ 東日本の玄関口としての交流拠点形成 ⑦ 大宮ーさいたま新都心間の回遊性向上 ⑧ 商都大宮をはじめとするまちのにぎわい再生 	<ul style="list-style-type: none"> ⑨ 生活拠点施設へのアクセス改善 (自家用車に依存した生活行動の解消) ⑩ 交通弱者の外出機会の創出 (新型コロナウイルス感染症に伴い外出機会が一層減少)

○ 課題解決の方向性

駅を核とした「スマート・ターミナル・シティ」

さいたま市のスマートシティのコンセプト「市民のウェルビーイングな暮らしを実現するスマートシティさいたま」の構築に向け、駅を核としたウォーカブルでだれもが移動しやすい、人中心に最適化された都市空間・環境を形成



○ 実施する施策

施策① 健康で環境にやさしい脱クルマ依存型生活行動を支え、地域回遊性を高める(モビリティサービスの充実)

ーシェア型マルチモビリティの導入 ーAIオンデマンド交通の導入

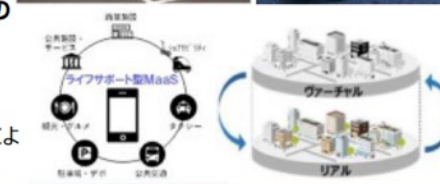


施策② モビリティと地域経済活動が連携した「ライフサポート型MaaSの構築」

ーモビリティを軸にしながら、買い物等のサービス・データを連携・統合

施策③ スマートプランニングによるウォーカブルな都市空間・環境の形成

ーライフサポート型MaaSから得られるデータ等を活用したスマート・プランニングにより施設配置や空間整備等、最適な空間計画を実現



■ 対象区域の概要

- 名称：さいたま市
- 面積：約217.4km²
- 人口：約133万人

■ 対象区域のビジョン

- **上質な生活都市**
全ての人があわさを実感し、自らが暮らすまちに誇りを感じることができる都市
- **東日本の中枢都市**
市民や企業から選ばれ、訪れる人を惹きつける魅力にあふれる都市

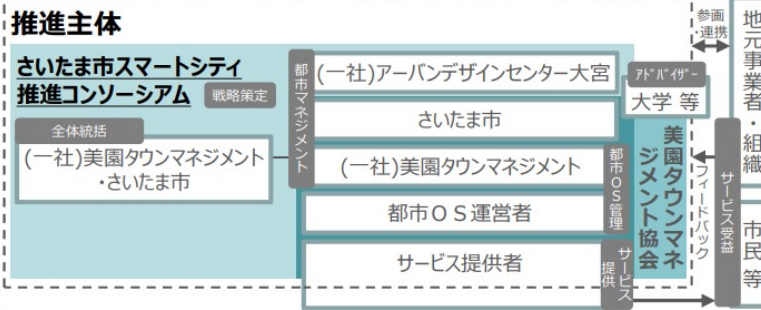
スマート・ターミナル・シティさいたま実行計画（さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム）

2

■ スマートシティの目標 (KPI)

KPI	現況値	目標値
まちなかの滞留人口・時間	- (取組の中で計測)	- (取組の中で計測)
交通利便性への満足度	57.8% (R2)	64.0% (R7)
自動車分担率(市全体)	26.8% (H30)	現況からの減
グリーンポイント発行量	0ポイント	- (取組の中で計測)
店舗売上	- (取組の中で計測)	- (取組の中で計測)
身体活動量	- (取組の中で計測)	- (取組の中で計測)

■ 運営体制



■ 導入技術

施策① モビリティサービスの充実

- **シェア型マルチモビリティ** (中心市街地型モデルで先行実証)
 - 主に在住者、在勤者の移動の利便性向上や、都市の回遊性、環境負荷の軽減などを両立する新たな都市交通システムとして、**複数モビリティのシェアリングサービス**を展開。
- **AIオンデマンド交通** (郊外住宅地型モデルで先行実証)
 - 既存交通を補完し、多様な地域ニーズに柔軟に応えながら脱クルマ依存型生活行動を支える移動手段として、**AIがリアルタイムで最適な配車を行う**オンデマンド交通サービスの新規導入



施策② ライフサポート型MaaSの構築

- **モード間連携**
 - 路線バスなどの**既存の公共交通とシェア型マルチモビリティ等新たなモビリティサービスとの連携**(MaaS、ポート配置、配車等)による移動の総量の増加・更なる利便性の向上。
 - 鉄道事業者とシェア型マルチモビリティとのアプリ連携も想定。



○ 地域経済連携

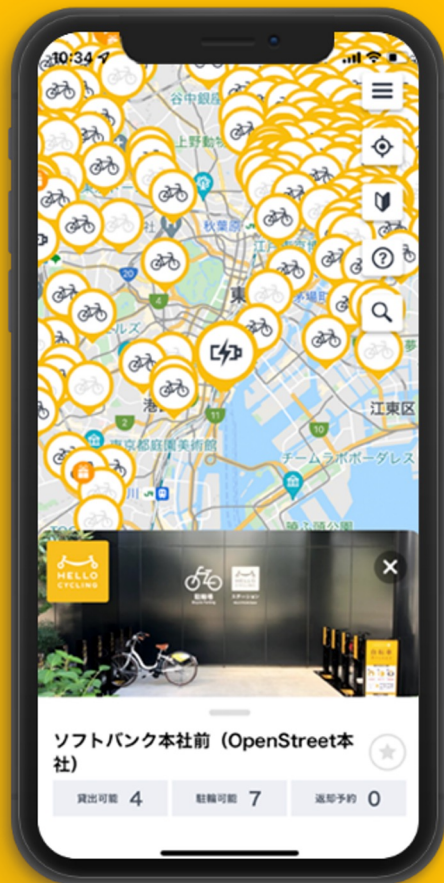
- **HELLO CYCLING**アプリやAIオンデマンド交通サービスの予約アプリにおいて**商業施設やキッチンカー等の情報を発信**(及びアプリ相互で情報発信連携)し、外出のきっかけ作りによりバス・シェアサイクル等公共交通の利用促進と地域消費を誘発。

施策③ スマートプランニングによるウォーカーブルな都市空間・環境の形成

- **スマートプランニング高度化**
 - 歩行者の移動量、滞留量とさいたま市3D都市モデルデータを活用した日影の投影範囲分析の重畳による**快適な移動空間、滞留空間評価モデルの構築・実証**。**デジタルツインによる都市基盤整備**。
 - 市民ニーズの収集・分析・施策反映のスマートな仕組み作り(**プランニングプロセスの高度化**)。



さいたま市で展開するマルチモビリティシェアリング



2016年～

国内最大のシェアサイクリング

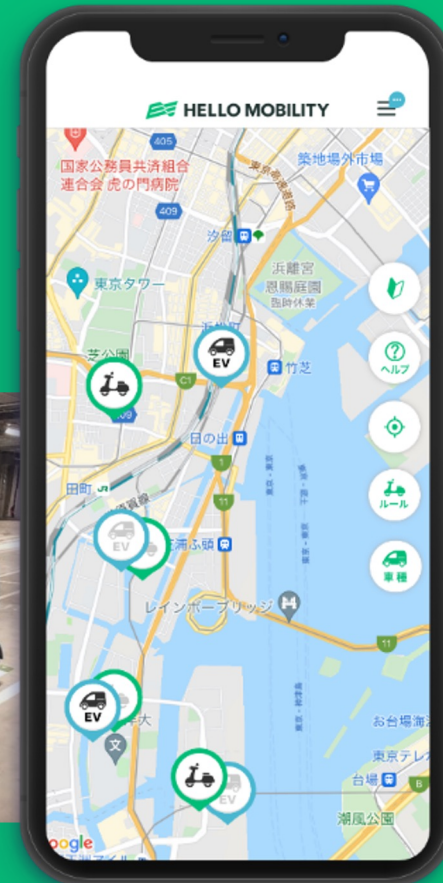
拠点数 **400** 箇所以上



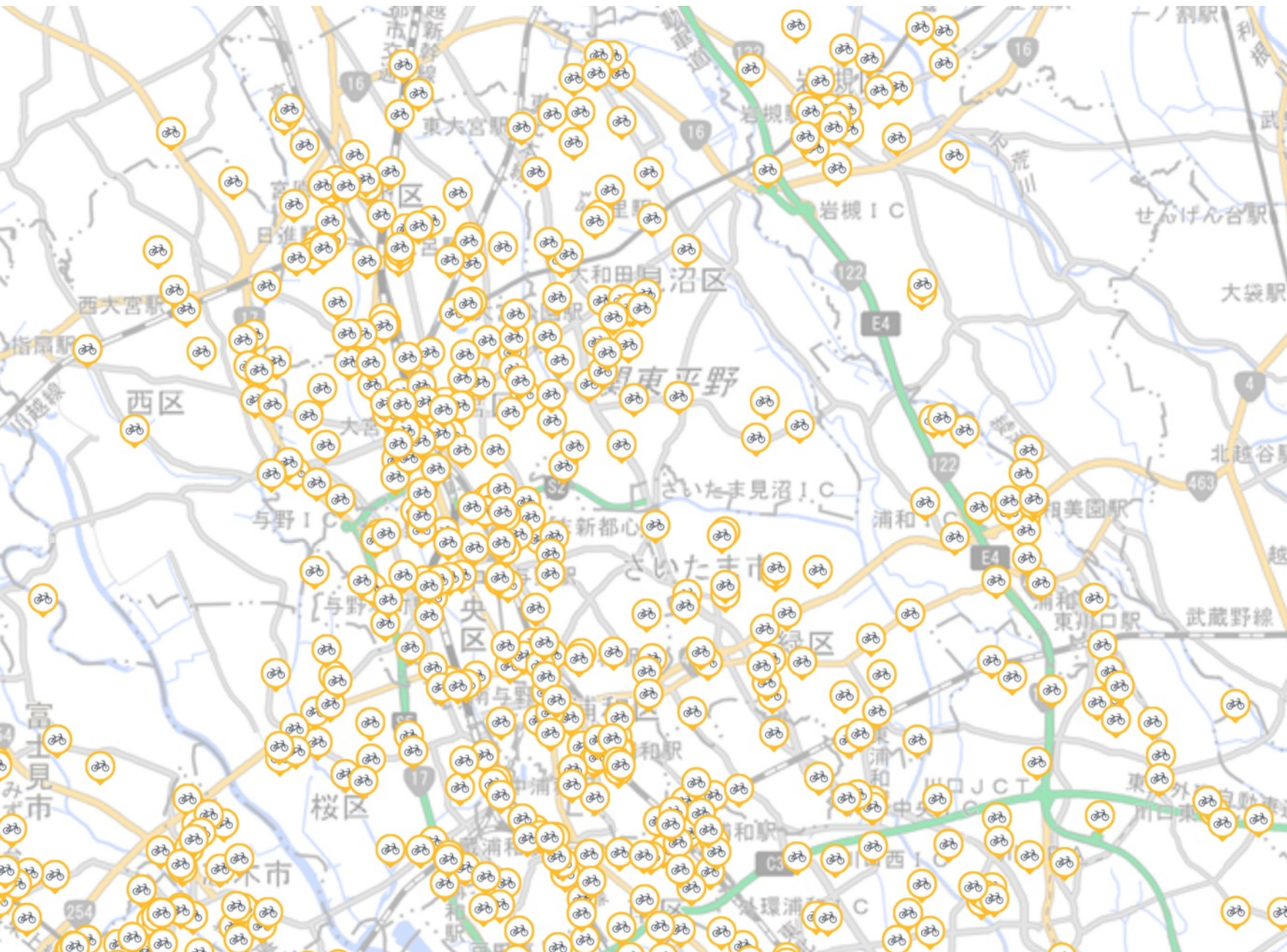
2019年～

スクーター・小型EV車

マルチモビリティシェア



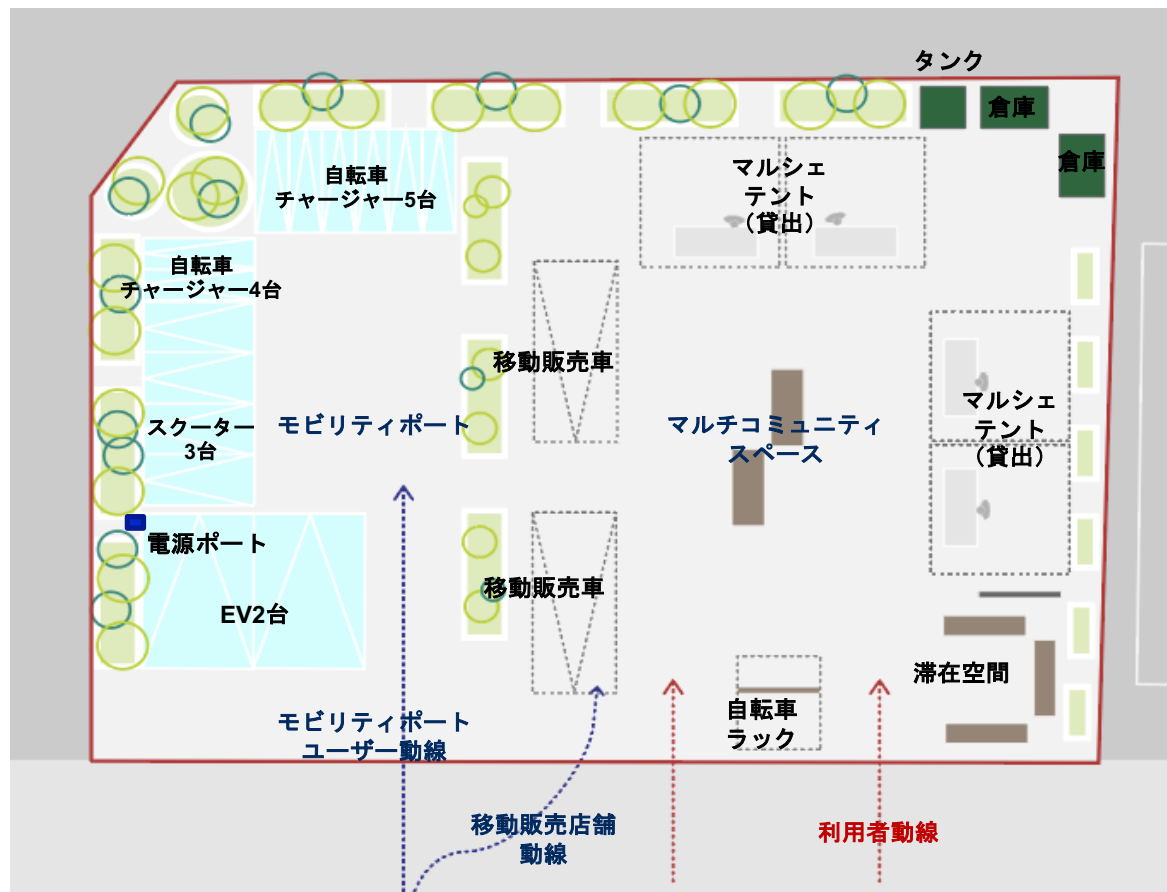
さいたま市でのシェアサイクル展開状況



拠点数
400 箇所以上

官民連携で
拠点整備

駐車場にモビリティハブを設置。
これにより、交通規制時などにも
駐車場スペースが利活用される



← 氷川神社 (武蔵一宮) 🔍 ✕



氷川神社 (武蔵一宮)

4.4 ★★★★★ (7,622)
神社

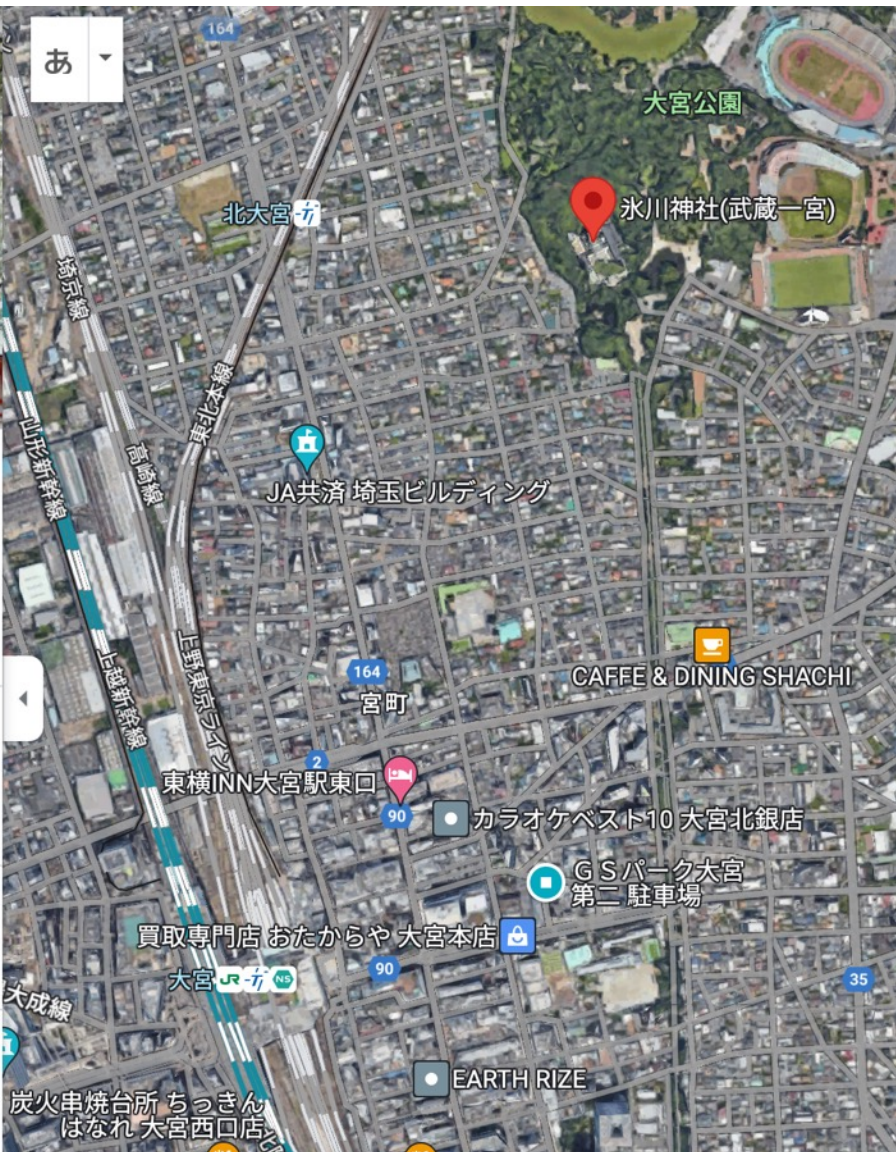
概要 クチコミ 基本情報

📍 📌 🔍 📱 🔄

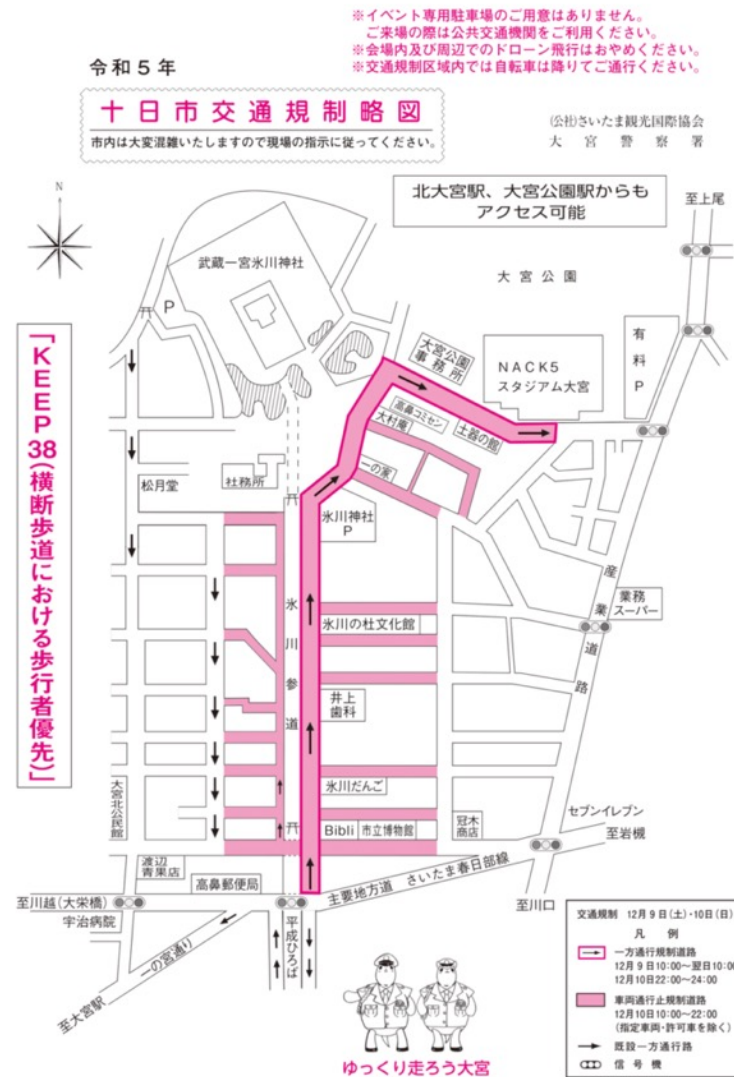
ルート・乗換 保存 付近を検索 モバイルデバイスに送信 共有

紀元前 473 年建立の神社。桜の木が生い茂る公園内には、動物園や博物館もある。

入場料 この結果について ⓘ
この場所の入場チケットを入手する

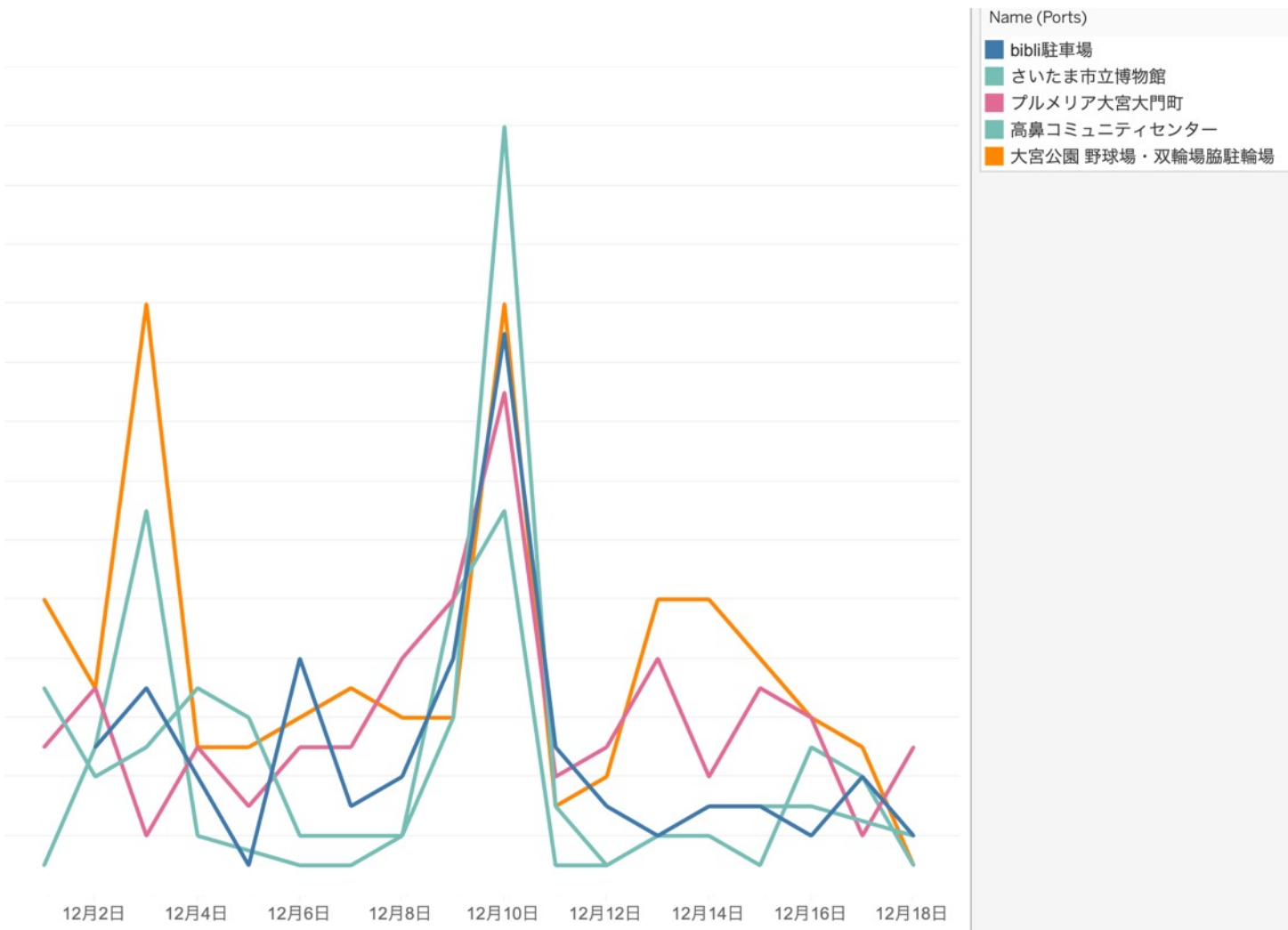


交通規制エリアで、シェアサイクルが移動の補助手段に



さいたま観光国際協会十日市ページより

交通規制時エリアの周辺ステーション利用が増加



一時的なウォークブルエリア化時の駐車場利活用



駐車場のコミュニティスペース化

交通規制により、歩行者空間化

コミュニティスペース兼モビリティハブの利便性を発揮



賑わい空間スペースにポートが隣接



自転車ポートは利用可能

車以外の利用者が
立ち寄る場に変化する

パークアンドライドが
自然発生する

駐車場の機能に可変性を
持たせられる

駐車場の利活用を
拡張する可能性



今後の展望



OpenStreetが目指す取組み



あらゆる交通結節点に
環境配慮型の
マルチモビリティステーションを

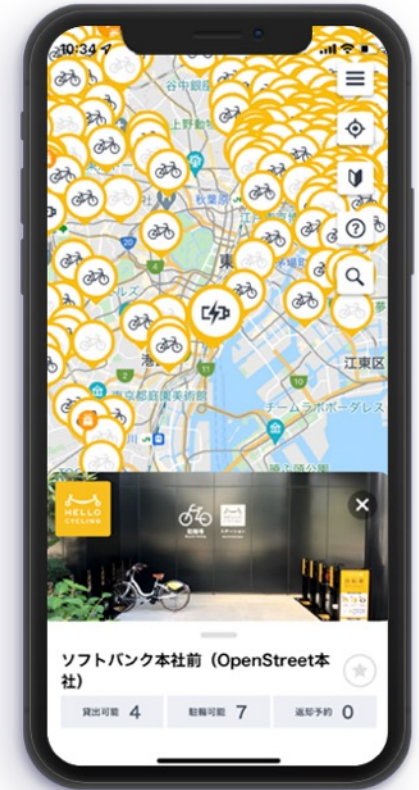




自転車のように
手軽で、
バイクのような
快適さ



立ち乗りではないバイクタイプの特定小型原付 「電動サイクル」のシェアリング





Open Street

オープンストリート